

議案質疑

「議案質疑」とは、提案された議案の説明が行われた後、それぞれの議案の疑問点について、提案者に質問することです。提案説明に含まれていない事柄についても質問することができます。

ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

問 母が死亡した児童、母の生死が明らかでない児童、これに該当する児童がどれぐらい見込めるのですか。

答 母がいない児童ということですので、父子家庭ということになります。11月末現在で14件となっています。

町立学校設置条例等の一部を改正する条例

問 名称を「豊翔館」と改める条例改正ですが、豊翔館だけでは学校のイメージがわかないのですが、豊翔館高校という名称にはできないのですか。

答 福岡県立鞍手高等学校鞍手町立〇〇校という

形でしか標記のしようがありません。例えば豊翔館を校に置き換えたという形で、豊翔館高校ですと独立したような形になりますので、豊翔館高等学校は使えません。そのように認識しています。



鞍手分校から豊翔館へ

平成22年度一般会計補正予算（第5号）

問 町税過誤金還付補助金追加40万5千円とありますが、その中身を教えてください。

答 町内にあります2筆

の土地について小規模の住宅用地の特例を適用していなかったことにより、ます税額還付です。1筆については13年度から17年度の5年間分、21万3857円、もう1筆は同じく13年度から17年度で19万1017円、この2筆の土地について小規模住宅用地の課税の特例をしておりますので、今回増額補正を行っています。

問 児童措置費の子ども手当費が1181万7千円減額されていますが、その理由を教えてください。

答 子ども手当の支給初年度ということ、対象世帯を多めに見込んでいたということ、それと町外で働いている公務員の世帯が把握できませんでしたので、その分も多く予算計上していたということ、

問 私立・広域保育所運

営費負担金が4326万8千円増額されていますが、その中身について教えてください。

答 私立分のみですが、当初見込みより44人（剣第2・西川第2）他市町も含めまして51人増えていますので、今回増員分を追加補正しています。

問 教育費で工事請負費が減とありますが、その中身については、中学校の校舎耐震補強工事の完了に伴う不要額で良いのでしょうか。

答 ご質問のとおり、工事が完了し、その工事にかかわる入札残と設計変更による減額です。

問 工事請負費予算の内訳を見ますと特定財源となつていますが、これは福岡県の産炭地域活性化基金だと思えます。減額された金額の今後の使途計画はどのようにするのか教えてください。

答 福岡県産炭地域活性化基金の助成金ですが、配分額が1億900万円ありました。現在、その残額は1741万6千円となっています。この分については、平成23年度に行う耐震補強工事の部分に充てたいこうと考えています。

問 過疎対策事業債と過疎対策特別事業債と2つの項目がありますが、この違いは何ですか。また、過疎地域に指定された要因は何ですか、お尋ねします。

答 過疎対策事業債は一般分1億6970万円、ソフト分ということ、3500万円までの枠があります。その分についてこの特別事業債ということ、上がっています。過疎地域への適用要件ですが、人口要件があります。昭和35年から平成17年の45年間の人口減

少率が33%以上であること、本町の場合は36.6%で、財政力要件では平成18年から20年度までの3カ年の平均財政力指数が0.56%以下ということで、本町の場合が0.465%なので適用になりました。

■ 平成22年度流域関連公共下水道事業補正予算(第3号)

問 現在、後期総合計画を策定していますが、その計画の中に過疎債を使った新たな事業に取り組んで、人口の減少を止めるようにしていただきたいのですが、町長の考えはいかがですか。

答 平成23年度に向けて当初予算の中にそういうものを活かして行かなければならないと思います。議会の方で良いものがあれば意見を出して頂きたい。そして良いものは取り入れていくという形になると思いますが、いずれにせよ今後の町の活性化のためにどうしたら良いか、職員一丸と

なって取り組んでいますので、ご理解をいただきたいと思えます。

問 一般会計繰入金が増え、下水道事業の計画が変更されていますが、その辺の考え方を教えてください。

答 補正の8352万円については、過疎債の振り替えです。企業債を下水道会計で8910万円減額しております。その分が、今回の補正に計上されたということです。下水道特別会計は総務費と建設費に分かれます。建設費は事業に対するもので一般会計からの繰入金はありません。総務費については、維持管理費で、これは下水道の使用

料で賄うことになっていきますが、下水道の普及率が30%くらいですから、それで全部を賄うことはできませんので、一般会計から繰り入れている考え方です。

問 他の自治体からすると普及率が遅れています。下水道を敷設することによって、鞍手町に住む人が増える可能性があるということから、早く普及率を上げるために、事業を増やす考えはありませんか。

答 下水道事業を行っていますが、下水道事業は、もの凄く一般会計の足を引っ張っているくらい予算を投入しています。事業を拡大させれば下水道の普及率は上がると思いますが、予算に対して最高の下水道事業を行っていることをご理解頂きたい。これ以上、増やすということは一般会計上無理です。



管渠築造工事が進む中山処理分区(第33工区)

■ 平成22年度病院事業会計補正予算(第2号)

問 入院収益が7千万減となっておりますが、これの理由をお尋ねします。

答 当初予算では、整形外科医が来るということ

で予算を計上していましたが、その時点で、1日平均186人でしたが、現在180.5人で推移しています。今回、入院患者に対する看護職員の基準を13対1から10対1の上位基準に変更しました。

問 第3条に定める収益的収入及び支出に於いて、入所者の負担限度額変更に伴う調整や通所者の利用時間の延長に伴う収入等に調整を行ったということですが、その内容を教えてください。

答 負担限度額ですが、課税世帯によって食事が変わってきますので、それによる調整が発生しています。もう一つサービス時間ですが、4時間から6時間の場合、要介護でしたら、5150円です。以前はこの時間帯を利用し通所する人が多かったのですが、現在は6時間から8時間になりますと、6880円で1回当たり1730円上がります。今回、そういう調整をさせていただきました。

問 医業費用の減価償却費が8476万9千円追加されていますが、その理由をお尋ねします。

答 町からの繰り入れを前期と後期で行っている関係で、今回の追加補正は後期の分として計上させていただきます。

■ 平成22年度介護老人保健施設事業会計補正予算(第2号)

問 第3条に定める収益的収入及び支出に於いて、入所者の負担限度額変更に伴う調整や通所者の利用時間の延長に伴う収入等に調整を行ったということですが、その内容を教えてください。

答 負担限度額ですが、課税世帯によって食事が変わってきますので、それによる調整が発生しています。もう一つサービス時間ですが、4時間から6時間の場合、要介護でしたら、5150円です。以前はこの時間帯を利用し通所する人が多かったのですが、現在は6時間から8時間になりますと、6880円で1回当たり1730円上がります。今回、そういう調整をさせていただきました。

知りたいこと

望むこと

5人の議員が
一般質問

人口流出を食い止めるため、魅力ある町の整備は

アクセシブル道路などインフラ整備に全力を傾けたい
(町長)



田中 二三輝 議員

質問

本町が元気になるためには人口の増加が必要で、そのためには、まず若い世代が定住するのに必要な住環境の整備、子育て世代のためには教育環境の充実も大切です。さらに高齢者には、人情ある田舎、自然豊かな地域づくりが必要であると思いますが、町長の考えはいかがですか。

町長 平成22年4月の過疎地域指定に伴い、過疎

地域自立促進計画が策定されました。

計画では1万8千人の人口が平成26年には1万6千人になると予想されています。人が住みたいと思う町づくりを進めるためには、ハード面

では、鞍手インターチェンジや遠賀川架橋などのインフラ整備、上水道整備、下水道のエリア拡張や、企業誘致、住宅誘致に取り組みする必要があります。ソフト面では高齢者福祉や医療体制の充実、町特産物のブランド化が必要であると考えます。

質問

インターチェンジや遠賀川架橋などの活用を図るには、町内道路網の整備が欠かせないと思

いますが、都市計画道路の整備並びに町外からの広域的な道路計画についてお尋ねします。

町長 直方鞍手線、北九州鞍手線は、平成17年に決定されています。直方鞍手線の産業道路までの1.2kmは現在整備中です。残りの26kmについては今後とも県道としての整備を要望してまいります。



橋梁下部工事が進む仮称遠賀川架橋

備中です。直方鞍手線との結節点までの整備が急がれるところですが、JR筑豊本線との立体交差の問題もあるので、多額の予算が必要です。国、県と協議し、事業の推進を図って行きます。

質問

周辺市町からの入り口部分の整備は町のイメージを決定づける意味で重要です。「町づくりは道づくり」であると思います。町長のさらなる取り組みについてお尋ねします。

町長 道路整備は地域活性化に必要不可欠だと思います。現在、幹線道路となる県道の改良工事、歩道整備等を進めていますが、さらに働きかけて行きたいと思っています。

質問

総合計画には、インフラを活用した土地利用の促進、企業誘致や就業機会の確保ということがうたわれています。また、町長の所信表明

にあるオーダーメイドの企業誘致についてお聞きします。

町長 厳しい景気動向から、筑豊地区における新たな企業進出は平成20年度は6件、21年度はゼロです。

工業団地造成には多額の費用が掛かります。行財政改革に取り組む本町では多額の投資をして工業団地を用意することは困難です。企業進出が決まってから整備するオーダーメイド方式を取らざるを得ません。



供用開始が待たれる鞍手インターチェンジ料金所

中学校保健体育科における武道完全実施の取り組みは

地域や学校の実態に応じて学校長が剣道を選択 (教育長)



岡崎 邦博 議員

質問 新学習指導要領により、平成24年度から完全実施される中学校での武道必修化に向けて、鞍手町における取り組みと、施設や用具の整備並びに指導者の確保について

でどう考えていますか。

教育長 中学校の学習指導要領では、武道は剣道・柔道・相撲等があります。また、地域や学校の実態に応じてその他の武道を含めた中から一つ選択し、3年間を通じて同一の種目を履修することを原則としています。

種目は教育環境である施設や指導者を考慮して、学校長が決定することとなっています。鞍手町では来年度から南北両中学校とも体育館を使用し、剣道を試行します。



稽古に汗を流す北中学校の柔道部員

用具については、南中学校では竹刀20本、防具10

セット。北中学校では木

刀30本をそれぞれ購入しています。指導者確保については、北中学校には体育科教員に剣道有段者が在籍しており、他の体育科教員についても、既に剣道指導者研修会にて履修しています。

質問 県下では数多くの学校が柔道を選択したと聞いていますが、鞍手町ではどのように検討されたのかお伺いします。

教育長 両中学校とも柔道場がなく、体育館等に畳を敷いたとしても危険が伴うこと、また、剣道の重大事故と柔道の重大事故を比較しますと柔道の方が危険度が高いとのデータから学校長或いは学校が剣道を選択したと思います。

質問 防具その他についても、不足していると思いますが、町としてどのように対応するのですか。

町長 要請があれば、学校教育を進めていく観点から考えます。

質問 武道の導入は、日本古来の伝統文化の継承にあると思います。子どもたちが選択できる環境にして頂きたいが、教育長の考えをお聞かせ下さい。

教育長 学校は生徒数が減少傾向にあり、また、体育科教員が一人しかいないような状況にあります。今はその辺を考えております。



授業で使用される剣道防具

消耗品の購入及びコピー機の使用について

台帳への記入漏れ、私的な利用はない (総務課長)



香原 暹 議員

辺はどのように把握されていますか。また、個人からの使用料合計はどの位ですか。

総務課長 これについては、10月11日の新聞に私のコメント記事がありましたが、台帳への書き忘れが多く、目を盗んで私的に使ったケースは無いと言っています。ここでもそういう答弁をさせて頂きたいと思っております。確実な枚数は把握できていません。

質問 総務課備え付けの使用台帳と実際のコピー枚数との相違は。

総務課長 使用台帳については、職員が付け忘れた分があったということと、両面コピーの場合はダブルカウントしますので、そういうところで台帳との差が出てきたと考えています。

質問 未記入の枚数の中に私用のものも含まれていると思いますが、その

質問 総務課のカラーコピー機の使用料は、どの課のどの予算で支払っているのですか、今回の調査で平成19年4月までは一般管理費、建設費の都市公園費、公共下水道建

設事業費等で払っていません。また、急傾斜地崩壊対策事業費、国勢調査費などからも払っています。が、これは問題ではありませんか。

総務課長 このカラーコピー機の使用料の支払いについては、当初は総務課の一般会計の方で支出していましたが、町財政の関係で、予算に余裕のある上下水道課の方から支出してもらうよう、お願いしたということですが、このことが、補助金等の不正使用にあたるのではないかと現在、県の調査を受けている状況です。

質問 商工会が企画した地域振興券に、町として補助金を出さなかった理由は何ですか。

町長 現在、町では財政の健全化を第一に上げ、行財政改革を推進しているところですが、全ての分野で歳出削減に努めながら

行政運営を行っている現状です。町の基金も少なく、今後地方交付税も現行通り見込めない中にありますので、今年度の補助については、見送ることとさせていただきました。

介護保険料の引き下げと減免措置の取り扱いは

支部を通じて保険料の引き下げと減免の必要性を要望して行きます (町長)



宇田川 亮 議員

歳入615億2777万4千円、歳出609億6295万1千円、差し引き5億6482万3千円、基金の残高は29億6216万5千円で県への財政安定化基金の借入金は21年度で完済しています。

質問 保険料の引き下げと減免制度の要望はされましたか。

町長 現在の社会状況を考えますと保険料の引き下げと減免の必要性はあります。今後も支部を通じて要望していきます。町単独での減免は財政状況から困難です。

質問 単独運営した場合の試算はいくらになりますか。

町長 給付費・地域支援事業費・認定給付・保険料の賦課・電算システム開発費が必要で、額がいくらになるか把握していません。

質問 私が行ったアンケート調査では住民負担が重いという結果が出ましたが、町長の認識は。

町長 長引く景気低迷で個人の所得は課税状況を見ましても、深く認識しています。

質問 ゴミ袋が高いと言われているのですが、負担軽減を考えるべきでは。

町長 一市二町でゴミ袋の単価や収集料金はある程度一元化しておく必要があると思います。

質問 住宅リフォーム助成制度については、地域活性化交付金も含めて検討するということでしたが、その結果について教えてください。

町長 平成22年度国の補正予算に於いて新たにきめ細かな交付金が創設されています。詳しい内容は分かっていますが、この交付金はハード事業、ソフト事業も対象になるようですが、本町では公共施設の老朽化が進んでいますので、施設



経済効果が期待される住宅のリフォーム助成制度

くらしの郷の利用時間等を見直す必要があるのでは

料金の見直しや利用時間の延長は今
は考えていません。(町長)



須藤信一郎 議員

支の状況を教えて下さい。

質問 町外の人の料金が500円に上がり、開設時間も9時から7時に短縮され約一年が経ちますが、現在の収支状況は。

町長 平成21年度収支状況は、入浴関係の分では、収入は882万650円、支出では4773万3525円、差し引き支出が3891万2875円上回っています。

質問 料金の値上げ等による利用者の減少数、収

入。全体のなバランスを見ながら合わせていきます。料金の見直しは、今は考えていません。

質問 時間を短縮し料金を上げ、利用者が減るということは良くないことだと考えますが、町長の考えは。

町長 利用者が減るといふことは良くないと思っておりますが、時間を短縮したのは、あくまでも経費の問題であり、この施設は福祉の向上を目的として設置した経緯がありますので、目的から逸脱するようなことは良くないと、町民の方からの意見もあります。

質問 鞍手町の中央を室木線が走っていたという歴史的遺産として各駅跡にモニュメントを設置する計画はありませんか。

町長 駅前跡地については、民間に譲渡されたところもあって、駅跡を示すような物は残っていま

せん。町としては、モニュメントを設置する計画は持っていませんが、鞍手町誌等で後世に伝えていきたいと思っております。

質問 西川の浚渫について、当初の計画より短縮された理由は何でしょうか。

町長 これは県事業ですから県に問い合わせをいたしました。県の方としては浚渫土の状態が非常に悪く、土を改良して搬出しなければならぬということなので、経費が多くなつたため浚渫区間が短くなったということです。



くらし郷の入浴施設

第6回臨時会

平成22年第6回臨時会が11月29日に開催され、一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例など6議案を審査し、いずれも可決されました。

条例の改正

一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

平成22年第6回臨時会
られます。さらに、56歳以上で、かつ、6級以上の職員については、15%減額されます。平成22年4月から改正法施行までの民間給与との較差相当分0.9%は、12月期の期末手当で調整されることになりました。

(賛成9反対2で可決)

○一般会計補正予算(第4号)
(賛成9反対2で可決)

平成22年8月に人事院勧告が行われました。これに伴い本町において

○流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
(賛成10反対1で可決)

も、期末・勤勉手当が年間で0.2月分の引き下げ

○水道事業会計補正予算(第2号)
(賛成10反対1で可決)

と、平成23年度以降の6

○病院事業会計補正予算(第1号)
(賛成10反対1で可決)

月期と12月期の支給割合

○介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)
(賛成10反対1で可決)

が変更されます。また、月例給については、医師及び若年層については据置き、40歳以上を対象として、平均0.1%引き下げ